



伊豆市議会だより

No.58
2018.11.1発行

発行:伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp>
編集:議会広報委員会
〒410-2413 静岡県伊豆市小立野38-2
TEL 0558-72-9906



修善寺竹林の小径

目次

■ 9月定例会の概要	2
■ 一般質問	7
■ 常任委員会行政視察報告	11
■ 次回定例会の予定 他	12



議会ホームページへ



一般会計の歳出総額は、
158億5,835万円でした。

平成29年度決算の認定

平成29年度各会計決算総括表

会計名		歳入	歳出	差引き額
一般会計		168億2,686万円	158億5,835万円	9億6,851万円
特別会計・企業会計	公共用地取得事業	4,175万円	1,572万円	2,603万円
	国民健康保険	51億378万円	49億2,761万円	1億7,617万円
	後期高齢者医療	4億470万円	4億166万円	304万円
	介護保険	32億6,982万円	31億6,345万円	1億637万円
	簡易水道事業	1億9,357万円	1億3,391万円	5,966万円
	下水道事業	16億5,256万円	15億6,200万円	9,056万円
	農業集落排水事業	1億4,863万円	1億3,129万円	1,734万円
	財産区（7財産区）	716万円	166万円	550万円
	水道事業	8億5,414万円	5億8,378万円	2億7,036万円
	温泉事業	9,895万円	5,661万円	4,234万円

委員会及び連合審査会では次のような質疑がありました

◆一般会計歳入歳出決算の認定

問 ごみ焼却施設の改良工事は、新焼却場の稼働の開始を見込んで実施したのか。

答 新焼却施設が稼働することを前提に、大規模工事ではなく、最小限の維持改修工事をしてきました。今後は、早くても半年以上稼働時期が延びますので、市民生活に支障が生じないように、施設維持に努めていきますが、稼働が伸びたことから工事内容が変わってくると思います。

問 「ふじのくに少子化突破戦略羅針盤」で、伊豆市が県平均を下回っているのは何か。

答 評価の中で伊豆市の劣っているものは地域の賑わいと雇用の場の創出です。子育て制度はほぼ県平均ですが、若い女性や、若者が伊豆市に住んでももらわないことは子供も増えません。今後、健康福祉部も総合政策部と一緒に事業

を進めていきたいと思えます。

問 小・中学校管理運営事業、旧田方管内で一番古いと言われている中伊豆中学校校舎への対策は。

答 中伊豆中学校については、床を研磨し、塗料で少しでも平らにする。雨漏りは砂利を取り、漏れている原因であろうという箇所が見えるようになるという対応はしていますが、根本的に大規模改修なのか建て替えなのかを求められています。

問 都市計画推進事業、29年度までの住民の合意形成の進捗状況は。

答 区域拡大に向けて、昨年度は市内10カ所で説明会を開催し、都市計画とはどのようなものか、区域に入ることでのどのような影響があるのか等説明をしました。

参加した人数はわずかで、説明会に参加して理解が深まったかという点、まだ足りていないと認識しています。広報やホームページ等で出た意見などは、掲載して理解促進に努めているところです。

問 天城湯ヶ島地区のデマンドタクシーの実証実験で、実際のタクシーの利用者数、利用目的等のデータはあるのか。

答 昨年10月から今年の9月まで実証実験をやっているところですが、利用状況が伸びていないという課題が大きく出ています。

この事業は登録制で、今約80人の方が登録していますが、実際に利用されたのは13人しかない状況です。

利用されていない方にアンケートを取った結果、将来的には必要だと思うが、今は困っていないという意見が非常に多くて、利用に結びつかない状況です。

問 ふるさと納税推進事業の返礼品の割合が4割から3割に変わったことで、事業者の撤退などがあったか。

答 返礼品の割合が変わったことによって、事業者が撤退をしたということはありません。

◆国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定

問 保険事業費、特定健診事後重症化予防事業の成果で、人工透析患者の抑制につながったとあるがなぜか。

答 透析になりそうな予備軍の方に対して通知を出し、慢性腎臓病の予防の相談や指導を行いました。

人工透析の新規の患者数は、前年度に比べて減少となっていました。

◆介護保険特別会計歳入歳出決算の認定

問 特別養護老人ホームの待機者数は。

答 県の調査によると市内では、126人の待機者がいます。その中で、6ヶ月以内の入所を希望する人は40人です。

◆下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定

問 湯ヶ島クリーンセンター改築工事の内容とその効果は。

答 汚泥処理設備の機械の取り換え、オーバーホール、電気設備の

更新、建屋は腐食防止の塗装を行いました。設備については15年から20年の耐用年数の間、性能を維持するための更新です。建屋の塗装は10年ごとに行っています。

討 論

平成29年度一般会計

歳入歳出決算の認定

反対討論

(西島信也議員)

本会計歳出に文教ガーデンシテイ建物移転等補償金4千118万円余りが計上されています。文教ガーデンシテイ計画は、議会ですべて否決されました。それにもかかわらず、なぜ29年度の支出を食い止められなかったのか、非常に問題であります。さらに新中学校が建設されないにもかかわらず、なぜ移転対象物たる築23年の住宅を取り壊してしまったのか。このようなことをやっているのは、伊豆市の財政破綻は、確実です。

賛成討論

(下山祥二議員)

今定例会に議案、決算書、決算説明資料が配布され、連合審査会において詳細な質疑、意見交換を行い決算審査いたしました。結果、決算内容、予算執行も適正であるとの結論に至りました。市税・交付税の減少が予測され、人口減少が進む中で、観光産業振興、住民福祉の増進につとめ、公共施設の最適化を図りつつ、市民が安心安全に暮らせる持続可能なまち伊豆市の創造に向けて、健全な財産運営と効果的かつ適正な予算執行を要望して賛成いたします。

平成29年度補正予算

◆一般会計補正予算(第2回)

主なものとして、障害者総合支援事業国庫負担金精算による返還金1千401万円、こども園建設事業3億3千524万円、市内公的病院等の医療体制整備のための補助金2億2千193万円、駿河湾観光交流活性化事業負担金100万円、津波特定避難困難地域抽出業務委託料456万

円、平成30年6月豪雨による農業用施設災害復旧工事1千500万円など、総額8億5千380万円を増額し、歳入歳出予算額を176億9千127万円とするもの。

◆国民健康保険特別会計補正予算(第3回)

平成29年度国民健康保険療養給付費等負担金及び特定健診・特定保健指導事業負担金の精算により、超過額を国や県などにそれぞれ返還するため、7千394万円を増額するもの。

◆後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)

高齢者医療制度において、保険料軽減特例の見直しに伴うシステム改修業務委託のため、80万円を増額するもの。

◆介護保険特別会計補正予算(第1回)

平成29年度介護給付費等の精算により、超過額を国や県などに返還するため7千475万円、制度改正によるシステム改修業務委託

のため、270万円などを増額するもの。

◆下水道事業特別会計補正予算(第2回)

土肥浄化センター、湯ヶ島クリーンセンター、白岩浄化センター処理場修繕工事のため、1千631万円、流域下水道管渠補修工事のため、810万円などを増額するもの。

◆農業集落排水事業特別会計補正予算(第1回)

県道修善寺天城湯ヶ島線改良工事に伴う管渠工事のため、216万円を増額するもの。

報告

◆平成29年度伊豆市一般会計予算の継続費精算報告

◆平成29年度伊豆市健全化判断比率の報告

◆平成29年度伊豆市資金不足比率の報告

◆専決処分の報告(市有財産の管理事故に伴う和解及び損害賠償の決定について)

条例の改正

◆伊豆市農村環境改善センター条例の一部改正

施設の老朽化により、平成31年3月31日をもって、天城農村環境改善センターを廃止するため、所要の改正を行うもの。

◆伊豆市保育所条例の廃止

平成29年4月より休園している橘保育園について、平成30年12月をもって廃園することにより、伊豆市の保育所がすべて廃園となるため、当該条例を廃止するもの。

◆伊豆市運動施設条例の一部改正

施設の老朽化により、平成31年3月31日をもって、天城温泉プールを廃止するため、所要の改正を行うもの。

その他

◆市有財産の焼損に伴う和解

市有財産の焼損に伴う和解について、議会の議決を求めるもの。

◆公の施設の指定管理者の指定(月ヶ瀬地域振興施設)

伊豆市月ヶ瀬地域振興施設(道の駅)の指定管理者として、『株式会社村の駅』を指定するもの。

◆人権擁護委員候補者の推薦

任期満了に伴い、鳥澤守司氏、吉田佐喜雄氏が候補者になることに同意するもの。

任期は、平成31年1月1日から3年間。再任。

各常任委員会の審査では次のような質疑がありました

◆一般会計補正予算(第2回)

問 市内公的病院の補助金制度の内容は。

答 公的病院の運営費の補助となつています。常勤医師では補えない非常勤医師の支援です。財源として、地方交付税の特別交付税で補助金額の78・4%充当となっております。残りは一般財源です。

問 虹の郷用地境界確定測量業務委託の内容は。

答 今回の測量は、虹の郷の借地部分に接する市の道路と虹の郷の土地の境界がはっきりしていないため境界を確定させ、借地の必要な個所について買収を検討していきます。現在、借地料として年間1千200万円弱の支出をします。

問 駿河湾観光交流活性化事業の負担金増額の内容は。

答 駿河湾フェリーのPR強化のため、協議会で宣伝広告費の増額が決まり、事業費500万円の3分の1を県が負担、残りの3分の2のうち、静岡市と伊豆市が約30%、松崎町・西伊豆町が17%、下田市・南伊豆町が7%それぞれ負担するものです。

◆下水道事業特別会計補正予算(第2回)

問 下水処理場修繕工事費等の内容は。

答 土肥浄化センターは水処理等の地下部分の漏水を止める工事、

湯ヶ島クリーンセンターは塩素混和池の清掃用バルブの修理、白岩浄化センターは曝気装置の制御機器の修理、各施設の脱臭装置の脱臭剤の交換です。管渠補修は、修善寺地区の老朽部分40カ所ほどの修繕を行うものです。

◆農業集落排水事業特別会計補正予算(第1回)

問 雲金地区管渠工事の内容は。

答 現在、県道修善寺天城湯ヶ島線の道路改良工事を行っており、その工事に伴い、道路を横断している河川改修が必要となったため、工事中の迂回路の敷設に併せて、汚水をポンプで圧送する圧送管も仮設配管するものです。

◆伊豆市運動施設条例の一部改正

問 天城温泉プールを利用していた人が中伊豆温泉プールを利用する場合、バスの手配をどうするか。

答 指定管理者への提案書を現在作成中のため、その中で対策を考えていきたい。

◆公の施設の指定管理者の指定(月ヶ瀬地域振興施設)

問 月ヶ瀬の道の駅で販売される商品の選定や品質の管理に市は関与するの。

答 指定管理者となる業者は、現在ほかの地域で事業を運営し、品質管理や商品補充管理は厳しくやっていると認識している。市としては、品質管理などのレベルについては協議するが、民間のノウハウでしっかりとした販売管理をするよう要求していきます。

討 論

伊豆市運動施設条例の

一部改正

反対討論

(杉山武司議員)

天城温泉プールの閉館理由は、築40年を経過し耐震性能に不足があるとの説明でした。

プールの建物は、倒壊する危険性は低いランク2の建物に該当します。これよりもはるかに倒壊の

危険性が高いランク3の修善寺体育館は多くの人たちが利用し、修善寺中学の部活動でも使用しています。その建物の危険性を保護者の方々はご存知なのでしょう。修善寺体育館はそのまま、より耐震性能が上回る建物の閉鎖を先行する意図が私には理解できません。

公の施設の指定管理者の指定について(月ヶ瀬地域振興施設)

賛成討論

(杉山誠議員)

指定管理候補者の選定結果については、これまでの議会全員協議会で、選定までの経過と審査概要、審査会の採点結果について説明を受けています。

地元の団体が選定に漏れたのは残念ですが、審査会の付帯決議にあるように、「株式会社村の駅」が、これまで培った経験と実績を生かし、周囲の商業施設との調和と連携、地場産品の発掘や魅力創出などに尽力し、地域振興に寄与されることを期待して賛成します。

平成30年第3回(9月)定例会で審議した議案

■賛否が分かれた議案

件名	議決結果	波多野 靖明	山口 繁	星谷 和馬	間野 みどり	鈴木 正人	下山 祥二	杉山 武司	青木 靖	永岡 康司	小長谷 順二	小長谷 朗夫	西島 信也	杉山 誠	森 良雄	木村 建一
----	------	-----------	---------	----------	-----------	----------	----------	----------	---------	----------	-----------	-----------	----------	---------	---------	----------

決算の認定

平成29年度伊豆市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
平成29年度伊豆市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成29年度伊豆市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	可決 認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成29年度伊豆市温泉事業特別会計剰余金の処分及び決算の認定について	可決 認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成29年度伊豆市持越財産区特別会計歳入歳出決算の認定について(他6財産区)	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

補正予算

平成30年度伊豆市一般会計補正予算(第2回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
平成30年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算(第3回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

条例・その他

伊豆市農村環境改善センター条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
伊豆市運動施設条例の一部改正について	可決	○	×	○	○	×	○	×	○	×	○	○	×	○	×	×
市有財産の焼損に伴う和解について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	棄権	○	×	○
公の施設の指定管理者の指定について(月ヶ瀬地域振興施設)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
伊豆市議会委員会条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
人権擁護委員候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○

※1 ○賛成 ×反対 欠は欠席

※2 議長(三田忠男)は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません

※3 7財産区…持越、市山、門野原、吉奈、月ヶ瀬、田沢、矢熊

■全会一致で可決した議案等

平成29年度伊豆市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	平成30年度伊豆市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)
平成29年度伊豆市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	平成30年度伊豆市介護保険特別会計補正予算(第1回)
平成29年度伊豆市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	平成30年度伊豆市下水道事業特別会計補正予算(第2回)
平成29年度伊豆市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	平成30年度伊豆市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1回)
平成29年度伊豆市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	伊豆市保育所条例の廃止について
平成29年度伊豆市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	

市政を問う

～一般質問～



録画配信へ

9月定例会での一般質問は、10名の議員が行いました。
質問と答弁を要約してお知らせします。(質問順)

質問

旧天城湯ヶ島支所の 違法貸付

(西島信也議員)



市長は、東京ラスク
に旧天城湯ヶ島支所の
向かって左半分を、賃

料年額339万円で貸付けました。

これは、随意契約の方法で締結されたが、
地方自治法では年額30万円以上の物件の貸付
は、競争入札にすべしと明記されています。

この契約は、法律違反と思われるが見解を
伺いたい。

総務部長 答弁

競争入札に適さない 契約であると判断

今回の契約の目的は、単に経済的な利益を
得ることではなく、旧天城湯ヶ島支所の跡地
を民間活力による商業施設として活用するこ
とで地域の賑わいや活性化に繋がることを目
的としています。そのため、法で定める随意
契約の「性質又は目的が競争入札に適さない
契約」であり、相手方は、平成22年に企業誘
致により事業展開し、当初の計画以上の実績
を上げており、更に事業を拡張していくもの
で、市の政策に合致しているものと考え、契
約の相手方としては最もふさわしいと判断し
ましたので何ら違法性はありません。

質問

東京2020大会 開催に向けて

(山口 繁議員)



世界最大のスポーツ
の祭典であるオリンピ
ック・パラリンピック

東京2020大会開催まであと2年を切りま
した。自転車競技開催市としての役割や準備
すべきことは何ですか。また、市民の意識を
高めたり機運醸成が必要と思われませんが、そ
のためにはどのようなことを考えていますか。

市長 答弁

さまざまな事業を推進し 機運醸成を高めます

開催場所は伊豆市ですが、東京2020大
会組織委員会との交渉窓口は、静岡県となっ
ています。昨年5月31日に東京都、組織委員
会、国、静岡県によって大枠の合意がされま
したが、伊豆市の役割分担及び費用負担につ
いてはほとんど決まっていないので苦労して
います。

産業部長 答弁

機運醸成については、各種イベン
ト等で取り組みをしていますが、未
だ、市民の意識や関心の度合いは低
いと感じています。今年度は、情報誌を作成
し、各戸配布する予定で、意識や関心の向上
につなげていきたいと考えています。

質問

市内の道路網
整備のバランス

(青木 靖議員)

伊豆縦貫道天城北道
路・下船原バイパス・
土肥バイパスの来年

早々の完成が見込まれ、オリンピック関連道路などの整備が進んでいるが、縦貫道から伊東へのアクセス道路の整備が遅れている。地域の安全確保、地域振興、観光交流人口増加のため、県道伊東修善寺線などの懸案の道路改良を行うべきだが、今後の対応をどう考えているか。

建設部長
答半島の回遊性を高めるために
横断道路は必要

伊豆半島は、伊豆縦貫道を背骨として、

その肋骨に伊豆横断道路を付けて全体をバランスよく半島の回遊性を高めるための整備が進められています。県道伊東修善寺線はその肋骨に当たりますが、現状については年川橋から中伊豆側の昨年度歩道工事を行った部分までの未改良区間について本年度整備予定となっています。県道中大見八幡野線については現在のところ改良計画はないとのことですが、伊豆横断道路の同盟会を通じて県に要望していきたいと思っています。

質問

命を守る防災・減災
対策の充実を

(杉山 誠議員)

南海トラフ巨大地震
の発生確率は、今後30
年に70〜80%とされる。また集中豪雨災害や
内陸地震も頻発している。

危険地域を知らせるハザードマップの周知や、自主防災組織の強化、広域防災拠点の整備は
いかに。また防災教育や通学路の安全対策な
ど、子どもたちを守る対策はいかに進めますか。

総務部長
答住民の災害に対する
危機意識の醸成が必要

ハザードマップについては、今年度までに
全戸配布させていただいておりますが、単に
配布するだけでなく、市民の皆さんに周知し
ていくため、各地区の自主防災会や防災委員
の御協力もいただければと考えています。ま
た、地域の防災計画の策定に関して、市とし
ても各自自主防災会と連携を取っていく必要が
あると考えています。

教育長
答

子どもたちを災害から守る対策に
ついては、熊坂小学校の国交省の支
援による防災教育の実践や、昨年の

土肥中学校においての総合学習、その他防災
訓練・避難訓練を実施しています。

質問

天城湯ヶ島支所、「東京
ラスク売却覚書」の根拠

(木村建一議員)

天城湯ヶ島支所移転
が、平成28年12月議会
の否決から翌年の3月

議会は可決になりました。私の認識は、支所の移転先の市民合意の変化です。市長が売却の覚書を交わした根拠は「東京ラスクの社長が地域の人に説明した。ぜひ地元に残ってほしい」という声があり、議員もいだろうということだった。」ということですか。

総務部長
答双方の意思確認のために
交わしたものです

この覚書の決裁文書は、目的と覚書の案に
ついて、しっかり決裁を受けています。

6月議会の繰り返しになりますが、今回の覚書は将来的な施設の売却、これを前提として、土地建物の所有者である市と、今後事業拡張を計画している東京ラスクさんとの間でそれまでの間の双方の意思確認をするために交わしたものですので、双方が今後協議していき、いつまで使いましょうという意思確認です。

質問

新中学校の具体的スケジュールを明示して



(下山祥二議員)

新中学校の再編・統合は、中断されたままです。教育振興審議会の答申は修善寺・中伊豆・

天城の3中学校は統合すべきとのものでした。その答申を重んじて一刻も早く教育委員会の方針を、市民に具体的に示すべきです。そして一年でも早く中学校の建設を進めることが、伊豆市の人口減少対策のひとつとなると考えますが。

長弁
教育
教答

答申書を基本に
方針案を作成する

教育振興審議会は、中学校のより良い教育環境のあり方について真剣に討議し、その結果が答申書としてまとめられました。

教育委員会としては、できるだけ早い時期に方針を決定し、具体的な整備計画づくりに着手していきます。

市長
市答

中学校整備の財源としては、合併特例債をなんとか充てたいので、3中学校統合にしろ中伊豆中学校単独整備にしても、早い議会において、意思決定をいただきたい。

質問

終活制度の活用



(波多野靖明議員)

終活は高齢者ご本人が再確認するだけでなく、その家族、また身

寄りの無い方にとって、亡くなられた後の市の対応や申請を円滑に執り行うために、非常に重要であり、更に子育て世代は、子供を育てると同時に高齢になる親の身の周りも気に掛ける生活。

そこで持ち主不明の土地・建物や耕作放棄地はあるのか。事前にご本人の意思を表明する終活制度を考えているのかお聞きします。

長弁
福祉
健康
社部
答

終末期の意思を
残すような仕組みを

身寄りのない方がお亡くなりになった場合の、お住まいや土地などの資産についてどのようにしているのかという点に関して、市ではその実態を把握できておりません。終活制度については、生活の多様化により親族の把握が困難な場合があるなど終末期を迎える高齢者の課題と感じています。ご自分の意思をしっかりと伝えられるうちに、終末期の意思決定を家族や身内に伝えたり、書面に残しておくような仕組みが必要と考えます。

質問

台湾旅行はプライベートな旅行です



(森 良雄議員)

昨年7月1日から3日まで市長は職員を連れて台湾へ旅行しました。公費を使った旅行

です。目的は台湾の林さんがロータリークラブの会長に就任したためのお祝いに参加するためのものです。

羽田までどのように行きましたか。台湾ではどこへ行きましたか。それを証明してください。

市長
市答

プライベートな
旅行ではありません

台湾旅行については、その目的、行ったところなどは、議員が情報公開請求された復命書にも記載されており、これまで申し上げたとおりです。

また、議員が出されました住民監査請求に対する監査委員の決定通知書に、宿泊先、行程、証拠写真を確認したことも書かれています。

質問

合併前の旧4町の
公文書の管理を問う



(杉山武司議員)

市町村合併時の旧自治体の公文書の適正な

管理・保存について、国は平成14年から平成18年にかけて3回に亘り公文書の適正な保存の要請を各都道府県に発しています。

この要請は県の市町村合併担当課経由で、伊豆市にも届いているはずですが、伊豆市としてこれにどう対処しましたか、加えて現在の管理状況を伺います。

総務部長
答

公文書は適正に
管理しています

合併時における公文書の保存の適正化に関する国からの要請について、旧4町においては、この要請を受け的確に対応したものと考えています。また、旧4町の公文書の管理状況ですが、合併時において、統一されていないかった文書の管理及び保存方法について統一するため、保存文書ファイリング体制の確立を行っており、合併後の文書と同様に保存文書目録をデータベース化し、棚番号及び保存箱番号を付しています。これにより旧町時代の保存文書目録は検索できる状態となっています。

質問

牧之郷地区のまちづくりを
推進する方策は



(小長谷朗夫議員)

牧之郷地区まちづくりと市が進める定住促進の連携について、今年度(来年の3月)順調に「地区計画」が策

定された場合、どのようにして開発者を誘致するのか、何もしなくても開発が進んでいくのか。市当局は何か民間開発を加速させるための方策を考えているのか伺います。

建設部長
答

市として地区計画の内容を
周知していきます

地区計画が予定通り策定された際には、市として開発事業者等に対して計画内容を周知するとともに、業界団体等への説明など牧之郷地区の開発に興味を持ってもらう活動が必要だと感じています。また、民間開発によって地域に寄与する道路等の公共空間が整備される場合など一定の助成制度が必要であるとも考えています。そのほか牧之郷駅周辺の整備については伊豆箱根鉄道や地権者の御協力を得て、駅前広場や送迎用の駐車場、歩道整備、市道の拡幅など市による一定の基盤整備も必要であると考えています。

常任委員会の名称が

改正されます

現行の常任委員会の名称が、第1委員会、第2委員会では対外的に何を所管しているのかわからないという意見があり、議会改革推進特別委員会で審査し、議員発議で伊豆市議会委員会条例の一部改正を行いました。

11月1日から第1委員会は『総務経済委員会』、第2委員会は『教育厚生委員会』となります。

【総務経済委員会】

総合政策部、総務部、産業部、建設部、会計課、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、農業委員会及び固定資産評価審査委員会の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項。

【教育厚生委員会】

市民部、健康福祉部及び教育委員会の所管に属する事項。

常任委員会 行政視察

第1委員会

(平成30年7月25日～27日)

●南小国町・黒川温泉地域の街づくりの取り組みについて

(熊本県南小国町)

黒川温泉の地域理念は「黒川一旅館」。一つひとつの旅館は部屋、温泉街の道を廊下と見立て、街全体が一つの旅館であるかのよう
に、住民一丸となって街づくりを
続けている。



▲南小国町長より、黒川温泉について説明を受ける
第1委員会委員

●平成29年7月九州北部豪雨災害の被害と対応、復興計画について

(福岡県朝倉市)

9時間で774ミリの記録的短時間豪雨で、450箇所です砂崩れが発生し、大量の流木を含む土砂が急激に増水した河川を流れ、大被害となった。被災後、避難勧告・避難指示の発令基準を見直し、地区別復興まちづくり協議会で復興を進めている。

●人口増定住政策、昭和の町「景観を活かした観光戦略について」

(大分県豊後高田市)

移住してきた人も地元の人もずっと定住してほしいと、きめ細かく定住の取組みを行い、社会増となっている。教育・若夫婦支援など、過疎債を財源に実施している。
商店街の衰退を機に、商店街の復興に昭和の景観を活かし、観光の要素を入れて取り組んだ。

●遊べる温泉都市構想とクラウドファンディングの効果

(大分県別府市)

湯々園地(ゆうえんち) 事業

をWeb動画で発信し、資金を約9千万円集めた。

●国東半島宇佐地域世界農業遺産

(大分県国東市)

認定されたシステムを継承するアクションプランを実施している。

第2委員会

(平成30年7月25日～27日)

●「おがっこネウボラ」

(秋田県男鹿市)

ネウボラとは「アドバイスの場所」。少子化対策が目的ではなく、「安心して子供を産み育てられる環境を目指す」ことが目標。母子保健コーディネーターを中心とした、保健師・助産師・臨床心理士などが一つの窓口となり、妊娠・出産・就学時までの子育て世帯の相談に乗っている。

●秋田県社会福祉事業団、由利本荘地域生活支援センター 障害者支援事業

(秋田県由利本荘市)

*生活介護事業 *児童発達支援事業 *放課後等デイサービス。児

童発達支援事業の見学では、子供達が楽しく遊ぶ姿があった。

●インターネットを活用した遠隔診療

(秋田県湯沢市)

医師不足の地域格差を埋めるために、遠隔診療が有効な手段となるか実証実験を始めた。診療の質を落とさず、患者も違和感なく有効性は高い。



▲インターネットを活用した遠隔診療の説明を受ける第2委員会委員

●子どもたちの学力向上

(秋田県横手市)

「全国学力テストは、全国平均を上回っているが、順位が重要ではない。テストだけでは学力は伸びない。言葉の力を付けることが大切」として、全員に子ども新聞、中高生新聞を配布。文章を読む時間を設け、学校図書館には司書を配置し読書活動の充実を図っている。

平成30年 第1回臨時会

7月30日、平成30年第1回臨時会を開催し、市長から提出された議案2件について、原案のとおり可決しました。

平成30年度補正予算

◆国民健康保険特別会計補正予算(第2回)

平成29年度退職者医療療養給付費等交付金額の確定に伴う精算により、交付金の過剰受領分を社会保険診療報酬支払基金に返還するため、716万円を増額するもの。

その他

◆工事請負契約の締結

月ヶ瀬地区の(仮称)道の駅地域振興施設の建物を建築するため、契約の締結に議会の議決を必要とするもの。

平成30年第1回(7月)臨時会の賛否状況

件名	議決結果	波多野清明	山口繁	梶谷和馬	間野みどり	鈴木正人	下山祥二	杉山武司	青木靖	永岡康司	小長谷順二	小長谷朗夫	西島信也	杉山誠	森良雄	木村建一
補正予算																
平成30年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算(第2回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他																
工事請負契約の締結について(道の駅)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○

※○賛成 ×反対 ※2 議長(三田忠男)は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません

議会傍聴・視聴について

本会議はどなたでも傍聴することができます。当日、本庁2階へお越しください。

なお、団体の場合には、事前に議会事務局までご連絡ください。

本会議の様子は、市のホームページからインターネットにより生中継と録画中継による配信もしていますので、ぜひご覧ください。(議会事務局0558-72-9906)

12月定例会

本会議の予定

場所 本庁2階 議場
時間 午前9時30分
11月28日(水) 行政報告
議案上程

12月4日(火) 一般質問
5日(水) 一般質問
6日(木) 一般質問
7日(金) 議案質疑
委員会付託
19日(水) 委員長報告
質疑・討論・採決

※変更となる場合があります。ご了承ください。

12月定例会

委員会の予定

場所 本庁2階 委員会室
時間 午前9時30分
12月10日(月) 総務経済委員会
11日(火) 教育厚生委員会

編集後記

この夏は…猛暑日が連続し危険な暑さに。台風発生数が多く思わぬ進路をたどるものも。広範囲な激しい豪雨により西日本は甚大な被害に。かと思えば、北の大地を揺るがした震度7の激しい地震。このように自然の凄まじいまでの力を実感した季節ではなかったでしょうか。

どこでいつ何がどのように起こるか分かりません。日頃から防災意識を高め、万が一のときの備えを万全にしておきましょう。

議会広報委員 山口 繁